

岩手県の 土地改良



CONTENTS

- 水土里ネットいわて第60回通常総会を開催・・・・・・・・・・2
- 平成29年度土地改良功労者表彰・・・・・・・・・・3
- 農業農村整備推進大会開催・・・・・・・・・・3
- 土地改良区の更なる発展を目指して・・・・・・・・・・4
- 平成29年度活動状況と平成30年度活動計画を審議・・5
- 協議会新役員が選任・・・・・・・・・・5
- 門崎ファームと豊沢川土地改良区が最高位に輝く・・6
- 宮崎雅夫氏が都道府県土地改良事業団体連合会会長
会議の顧問に就任・・・・・・・・・・6
- 水土里ネットいわて平成30年度新規採用職員の紹介・・7
- 平成29年度水土里ネットいわて資格取得者・・・・・・・・7
- 平成30年度水土里ネットいわて事務局体制図・・・・・・・・8

2018(5月) No.577

■発行所/岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号
TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人/田山 清 ■印刷所/永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

「眺望絶佳」杉本 英雄

H29年度「農村景観」写真コンクール 風景部門 最優秀賞



水土里ネットいわて第 60 回通常総会を開催

－平成 30 年度事業計画、一般会計予算など 9 議案を承認－

本会は 3 月 22 日、第 60 回通常総会を開催した。

総会には、県知事の代理として紺野由夫農林水産部長をはじめ、佐々木順一県議会議長、高橋元県議会農業農村整備推進議員クラブ会長、東北農政局長の代理として國井聡局次長、県選出国會議員秘書、県の各広域振興局農村整備室長など、多数の来賓の方々にご臨席をいただいた。

開会に当たり及川正和会長は、「国では、3 月 9 日に土地改良区の在り方に関する土地改良法改正案を閣議決定し、今国会に上程する予定となっている。本会ではこのような国の動きを踏まえ、これまで力を注いできた土地連としての経営基盤強化に止まらず、土地連が会員のための組織であるという基本に立ち返り、土地改良区指導に力点を置いた本会の体制強化、職員の充実・確保を図りたいと考えている。また、本会は今年設立 60 周年を迎える。6 月 6 日には記念大会を開催し、本県における農業農村整備の益々の推進について、関係者一同の決意を新たにしたい」と挨拶した。

総会では、平成 29 年度土地改良功労者表彰式が行われ、永年にわたり農業農村整備事



【挨拶をする及川会長】

業の推進や土地改良区運営に貢献した役員 7 名と職員 7 名に対し、及川会長から表彰状と記念品が贈られた。

総会では、紫波東部土地改良区の阿部萬太郎理事長が議長に選出されて議案審議が進められ、平成 28 年度事業報告及び決算、平成 29 年度補正予算、平成 30 年度事業計画及び予算など 9 議案が議決された。

最後に、安定的・計画的な農業農村の整備を進めるために必要な予算を確保することや、農業水利施設の更新設備を速やかに進めることなどを求める決議を採択し閉会した。

決 議

- 一 国においては、安定的・計画的に農業農村の整備が進むよう、平成 31 年度当初予算において、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること。
- 一 昨年の土地改良法改正を踏まえて、農地中間管理機構と連携したほ場整備事業やため池等の耐震化、農業水利施設の更新整備を地元のニーズに応じて速やかに進めること。
- 一 担い手への農地集積や生産コストの低減、高品質・高収益作物生産の前提となる水田の大区画化・汎用化を一層推進するとともに、中山間地域等においても、農業経営の持続的発展に向けて、地域特性を踏まえた基盤の整備が可能となるよう十分配慮すること。
- 一 農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む農業水利施設等の耐震化や地域排水機能の強化等の防災減災対策を進めること。
- 一 平成 30 年度に施策評価が行われる多面的機能支払制度の推進については、地域協議会や水土里ネットがこれまで培った技術、経験など持てる能力を十分に発揮し、制度の効率的・効果的な推進に貢献できるよう、十分な予算を確保すること。
- 一 現在、検討が行われている水土里ネットの組合員資格や体制の見直し等の土地改良法の改正に当たっては、水土里ネットの意見を十分踏まえるとともに、中小規模の水土里ネットの事務体制に応じた支援を行うこと。併せて地域資源を有効に活用した小水力発電等による維持管理費の低減など、運営基盤を強化する取組を推進すること。
- 一 県においては、本県農地の 8 割を中山間地域が占めている特質に配慮し、計画的に生産基盤の整備を進めること。

平成 30 年 3 月 22 日 岩手県土地改良事業団体連合会 第 60 回通常総会
「農業・農村のセーフティネットを目指して」

—平成 29 年度土地改良功労者表彰—

●役員の一部

氏名	所属	役職名
高橋 東一	豊沢川土地改良区	理事
駒場 賢一	猿ヶ石北部土地改良区	理事
中島 一	猿ヶ石北部土地改良区	監事
佐々木 利夫	真打堰土地改良区	理事
後藤 凌作	一関東部土地改良区	副理事長
畠山 朋郎	一関東部土地改良区	総括監事
小田 千代美	久慈市土地改良区	理事

●職員の一部

氏名	所属	役職名
佐藤 美由紀	豊沢川土地改良区	庶務係主任
佐藤 義晴	豊沢川土地改良区	会計係主事
及川 敦	猿ヶ石北部土地改良区	事務局長
菅原 みゆき	照井土地改良区	総務課長補佐
大村 力	岩手県土地改良事業団体連合会	農村振興部農村整備課主査
高橋 圭	岩手県土地改良事業団体連合会	農村振興部換地課主任
小原 嘉一	岩手県土地改良事業団体連合会	農村振興部換地課主任



農業農村整備推進大会開催

—岩手県土地改良事業団体連合会設立 60 周年記念—

このたび、設立 60 周年を迎えるに当たり、関係各位のご支援に感謝の意を表するとともに、県内の農業農村整備に関わる多くの方々の参集のもと、基盤整備の重要性について認識を新たにし、本県の農業農村整備の一層の推進を目的として、農業農村整備推進大会を開催します。

1. 開催日時：平成 30 年 6 月 6 日（水）午後 1 時 30 分より
2. 会場：盛岡市民文化ホール（マリオス）大ホール
盛岡市盛岡駅西通二丁目 9 - 1
3. 来賓：岩手県知事 達増拓也 様 他を予定
4. 記念講演：株式会社 農林中金総合研究所 理事長 皆川芳嗣 様（元 農林水産事務次官）
5. 後援：岩手県農業公社、岩手県農業土木技術協議会、一般社団法人岩手県土地改良設計協会

土地改良区の更なる発展を目指して

— 水土里ネット役員研修会を開催 —

1月31日から2月1日、本会は、盛岡市つなぎ温泉「ホテル紫苑」において平成29年度水土里ネット役員研修会を開催し、土地改良区役員等308名が出席した。

開会にあたり、及川正和本会会長が「平成30年度は、当初予算としての4,348億円と29年度の補正予算1,452億円、合わせて5,800億円が閣議決定された。当初予算は、土地改良関係者すべての願いである21年度当初予算と同額の当初予算に回復しつつある。また今年、今後の土地改良区の在り方について、法改正を含む制度の見直しが検討されている。本会としても、“土地連が土地改良区のための組織である”という基本に立ち返り、改良区指導に力点を置いた本会の体制の強化、職員の充実・確保を図ってまいりたい」と挨拶した。



【主催者挨拶する及川会長】

続いて、来賓として臨席いただいた高居和弘東北農政局農村振興部長、多田繁岩手県農林水産部農村計画課総括課長から挨拶をいただき、進藤金日子参議院議員（都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問）からはビデオメッセージをいただいた。



【来賓挨拶する高居部長】

ビデオメッセージをいただいた。

研修の1日目は、高居和弘東北農政局農村振興部長が『平成30年度農業農村整備事業予算概要及び今後の土地改良区の在り方について』と題し、予算のあらままと、現在の土地改良区運営の課題と今後の在り方について講演した。

続いて、大泉一貫宮城大学名誉教授（経団連21世紀政策研究所研究主幹）が、『成長産業としての農業』と題し、産業としての農業の課題と、経営・経済理論に基づいた合理的な農業へ転換の必要性について講演した。



【講演する大泉宮城大学名誉教授】

2日目は、沼田桃子青森県司法書士会会長が、『農地の相続登記困難事例』と題し、氏がこれまで携わった相続に関する事例を分かりやすく紹介した。質疑応答の中では、遺言の作り方について質問が出るなど、出席者は、身近であるにも関わらず見逃がされている内容を興味深く聴いていた。

出席者は、各講師からの様々な分野での有用な話を聴講し、今後の土地改良区運営に向けて気持ちを新たにしていた。



【講演する沼田青森県司法書士会会長】

平成 29 年度活動状況と平成 30 年度活動計画を審議

－岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ通常総会・研究会を開催－

2月26日、岩手県議会農業農村整備推進議員クラブは通常総会を開催した。

はじめに、高橋元副会長と及川正和本会会長の開会挨拶に続いて、来賓として出席した佐々木順一県議会議長と紺野由夫県農林水産部長がそれぞれ祝辞を述べた。

議事では、役員を選任（高橋新会長他が選出）、平成29年度の活動報告・収支決算及び平成30年度の活動計画・収支予算(案)について審議され、全会一致で可決承認された。



【祝辞を述べる佐々木県議会議長】

その後に開催された研究会では、多田繁県農林水産部農村計画課総括課長が「本県農業農村整備事業の取組状況」と題して、岩手県における農業競争力強化に向けた取組、東日本大震災津波からの復旧状況、平成28年度台風第10号災害からの復旧状況、平成30年度農業農村整備関係予算の概要について説明を行った。



【挨拶する高橋副会長（中央）】

協議会新役員が選任

－岩手県農業農村整備事業推進協議会役員会が開催－

2月19日、本会において岩手県農業農村整備事業推進協議会（及川正和会長）の役員会が開催された。

開会に当たり、及川会長は「昨年、土地改良法の改正が行われ、基盤整備事業がより円滑に進められる環境が整った。農業農村整備予算については、平成30年度当初予算と平成29年度の補正予算を合わせて5,800億円が確保された。引き続き皆様方からのご指導、ご協力を賜りながら推進していきたい」と挨拶した。

続いて、来賓の多田繁県農林水産部農村計画課総括課長から挨拶をいただいた。

役員会では、平成29年度の事業実施状況と収入支出状況が報告されるとともに、平成30年度の事業計画として、農業農村整備の要請活動や広報活動等の計画案及び本会の設立60周年を記念した『農業農村整備推進大会』の開催について承認された。

また、委員の任期満了に伴い、再任の11名のほか、農業集落排水委員に田村正彦八幡平市市長、中山間地域総合整備委員に小沢昌記奥州市市長、農村道整備委員に山本賢一軽米町長が新たに選任された。



【挨拶する及川協議会会長(右から2人目)】



【挨拶する多田総括課長】

門崎ファームと豊沢川土地改良区が最高位に輝く

—全国水土里ネット表彰式が開催—

3月26日、全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）は、農業農村整備優良地区コンクール表彰、21世紀土地改良区創造運動表彰並びに第59回全国土地改良功労者等表彰式をシェーンバッハ・サボー（東京都）において開催し、齋藤健農林水産大臣、荒川隆農村振興局長をはじめ多数の来賓が出席した。

農業農村整備優良地区コンクールは、農業農村整備事業の実施を契機に、農村振興や地域活性化等の成果を挙げている優良地区（団体）を表彰するもので、18団体が受賞した。

本県からは、一関市の農事組合法人門崎ファーム（藤江修代表理事組合長）が、最高位である農林水産大臣賞を受賞した。

また、21世紀土地改良区創造運動は、土地改良区と地域住民が連携して行う農業用施設の清掃や催しを通じ、施設の多面的機能等に理解を深める取組を表彰するもので、7土地改良区が受賞した。本県からは花巻市の豊沢川土地改良区（平賀巖理事長）が、最高位である大賞を受賞した。

このほか、全国土地改良功労者等表彰は、良好な運営を継続している土地改良区と運営に多大な貢献をされた個人を表彰するもので、125土地改良区、個人117名が受賞した。本県からは2土地改良区、2名が栄誉に輝き、盛大な拍手が贈られた。

◎第59回全国土地改良功労者等表彰『団体表彰』
金章：須川土地改良区
銅章：馬淵川沿岸土地改良区



【佐藤渉須川土地改良区事務局長(写真左)、山下正勝馬淵川沿岸土地改良区理事長(写真右)】

◎農業農村整備優良地区コンクール表彰
『中山間地域等振興部門』
農林水産大臣賞：農事組合法人門崎ファーム



【齋藤農林水産大臣から表彰状を授与される藤江修代表理事組合長(写真右)】

◎21世紀土地改良区創造運動表彰
大賞：豊沢川土地改良区



【二階会長から表彰状を授与される平賀巖理事長(写真右)】

◎第59回全国土地改良功労者等表彰『個人表彰』
役員：千葉大作(市野々土地改良区理事長)
職員：千葉英宏(胆沢平野土地改良区総務課長)



【千葉大作市野々土地改良区理事長(写真左)、千葉英宏胆沢平野土地改良区総務課長(写真右)】

宮崎雅夫氏が都道府県土地改良事業 団体連合会会長会議顧問に就任

1月19日に開催された都道府県土地改良事業団体連合会会長会議において、宮崎雅夫氏が新たに顧問に就任しました。



水土里ネットいわて平成30年度新規採用職員の紹介



菅野 章(かんの あきら)
総務管理部 部長



千代川 淳人(ちよかわ あつと)
総務管理部 総務課 主事



吉田 由希(よしだ ゆうき)
総務管理部 管理指導課 技師補



伊東 一成(いとう かずなり)
農村振興部 水土里情報推進室 技師



菅野 岳史(かんの たけふみ)
農村振興部 農村整備第一課 技師



大沼 朋也(おおぬま ともや)
農村振興部 換地課 主任

平成29年度水土里ネットいわて資格取得者

○測量士(3名)



【館澤 克美】



【大沼 朋也】



【平野 海芳】

○測量士補(2名)



【浦田 和浩】



【熊谷 英則】

○技術士補(1名)



【鹿糠 幸治】

○2級土木施工 管理技士(1名)



【高橋 知大】

○土地改良補償 業務管理者(2名)



【館澤 克美】



【浦田 和浩】

○農業水利施設機能 総合診断士(2名)



【本宿 悌之】



【高橋 敬史】

○第一種衛生管理者(1名)

○簿記三級(1名)



【太田 佳奈子】

平成30年度 水土里ネットいわて 事務組織図

